



# まらり)★



 JAめまんべつ

2017

4

No.848

## てん菜共同育苗施設操業

今年で2年目を迎える、てん菜共同育苗施設の操業が3月2日（木）より行われました。共同育苗施設では、女満別地域の作付の3割程度にあたる約540ha分の苗の製造、供給を行いました。JA職員やパート等による流れ作業により1日約1、800冊製造、運送業者により2つの班で敷並べを行いました。昨年の反省から農家の方のご指導を頂き、ピートポット作成から敷並べまで改良し、21日に無事供給が完了致しました。利用いただいた皆様には、良い評価を頂きました。今後も利用された方の声を聞きながら、取り進めていきたいと思っております。



## 広域穀類乾燥調製貯蔵施設 工事安全祈願祭

平成28年度「産地パワーアップ事業」により採択され、着工が決定した「広域穀類乾燥調製貯蔵施設」の工事安全祈願祭が工事請負業者主催により平成29年3月15日に女満別神社社殿にて工事関係者の他、大空町長、大空町議会議員、北見農協連会長など総勢約50名の参列により執り行われました。

工事安全祈願祭終了後、早速工場の杭打ち工事が開始され、平成30年3月の完成を目指します。完成後は北見管内産豆類調製の拠点施設として重要な役割を果たし、今後も増反が見込まれる豆類生産の基盤施設となります。

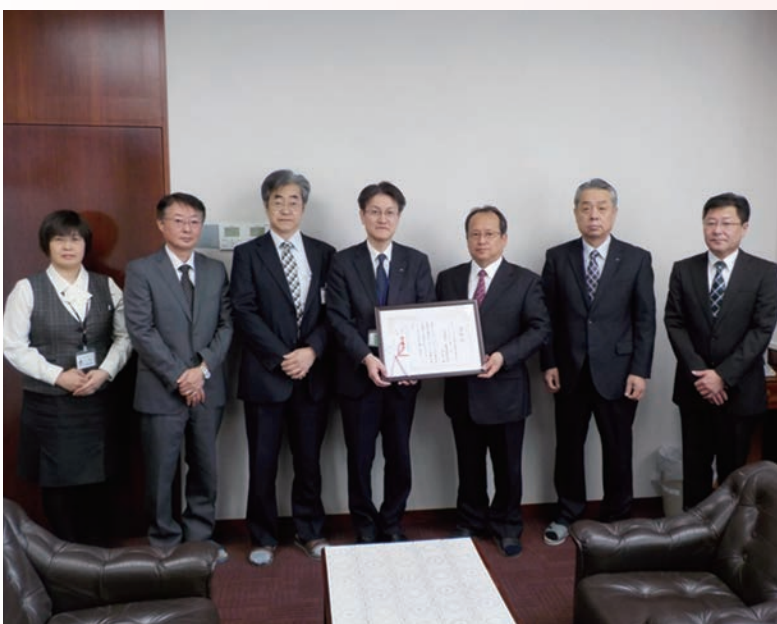
本施設は、建設コスト低減のためJAめまんべつの小麦乾燥調製施設との併用型として建設され、平成30年産の麦類から稼働を開始致します。新施設の能力が最大限発揮されるよう本年の豊稔の秋をご期待致します。



## オホーツクJA年金推進優績店舗 表彰を受けました

3月17日（金）、平成28年度オホーツクJA年金推進優績店舗として、グループA（17店舗）で年金新規獲得率が2位となり、北海道信連北見支所瀬戸支所長より表彰状が贈られました。

年金友の会活動や年金定期貯金等も行っており、年金口座も増加しております。今後も年金受給が近づいた時には手続き相談をさせていただきますので、お気軽にご来店頂きたいと思っております。



## 女満別町花卉生産部会総会

2月15日(水)、ホテル湖南荘において、女満別町花卉生産部会の総会(部会長 齊藤貞利さん、部会員 7戸)が開催されました。議事進行はスムーズに行われ、議案通り可決致しました。



## 長芋生産部会総会・講習会

2月17日(金)、ホテル湖南荘において、女満別町長芋生産部会の総会(部会長 福田淳一さん)が開催されました。議事進行はスムーズに行われ、議案通り可決致しました。

講習会は、普及センターの小澤専門普及員より長芋の栽培技術について講義を頂きました。



## 大豆営農集団総会

2月20日(月)、農協2階大会議室において平成28年度大豆生産営農集団(集団長大久保伸一さん)の総会が開催されました。議事はスムーズに進行され、議案通り可決決定されました。尚、今年役員改選が行われ、集団長には中西政克さん(中央)、副集団長には鈴木大介さん(大東)総務会計には藤野祐棋さん(大成)が選任されました。



## めまべつアスハラ生産部会・研修会

2月21日(火)、農協2階会議室にて第11回めまべつアスハラ生産部会の総会が開催されました。総会前には網走農業改良普及センター美幌支所の小澤専門普及員による研修会が行われました。

総会では、河村部会長の挨拶後、議事が進められ、役員改選では部会長に松田俊行さん(住吉)副部会長に丹治昭博さん(中央)理事に藤野祐棋さん(大成)が選任されました。

29年産も収量確保・品質向上を目指し提出された議案はすべて可決されました。



## ブロッコリー生産部会総会・講習会

2月22日(水)、ホテル湖南荘において女満別町ブロッコリー生産部会総会(部会長山本幸一さん)が開催されました。議長には横山利明さんが選ばれ、用意された議案は原案通り承認されました。尚、合わせて栽培講習会も行われ、講師には網走地区農業改良普及センター美幌支所の小澤専門普及員を招き、ブロッコリー生産技術について学びました。

尚、役員改選が行われ、新部会長には古田昭治さん、副部会長に東郷学さん、山本幸一さんが選任されました。



## 女満別町加工馬鈴薯生産組合総会

2月23日(木)、農協2階会議室にて第34回女満別町加工馬鈴薯生産組合の総会が開催されました。総会前にはカルビー(株)西日本事業部の榎木原料専門官より、実績報告・業績報告があり、その後講習会と産地懇談会が行われました。

総会は、西山組合長(大成)の挨拶後、合田副組合長(中央)が議長となり全議案が可決されました。



## 軟白ねぎ生産部会総会・講習会

3月3日(金)、ホテル湖南荘において女満別町軟白ねぎ生産部会総会(部会長池田金吾さん)が開催されました。用意された議案については原案通り承認されました。合わせて栽培講習会も行われ、講師には網走地区農業改良普及センター美幌支所の小澤専門普及員を招き、軟白ねぎの栽培技術について学びました。

尚、役員改選が行われ、新部会長には松田俊行さん、副部会長に井上拓郎さん、総務会計に石川祥平さんが選任されました。



## 加工人参生産部会総会・講習会

3月14日(火)、ホテル湖南荘にて加工人参生産部会(部会長今多信悟さん)の総会及び講習会が開催されました。今回は役員改選があり、新部会長には松田俊行さん、副部会長には中村真一さん、会計に晴山竜聖さん、監事に遠国隆さんが選任されました。

講習会にはホクレン農総研の本村職員、普及センター小澤普及員、クレードル食品㈱加福職員より講義頂きました。



## 食用馬鈴薯生産組合総会・講習会

3月16日(木)、農協2階大会議室にて女満別町食用馬鈴薯耕作組合(組合長渡辺誠さん)の総会及び講習会が開催されました。議長には大成の渡辺恵二さんが選任され、議案は全て承認されました。

尚、講習会では普及センター美幌支所今野普及員による馬鈴薯の栽培講習が行われ、良質馬鈴薯生産に向けて勉強致しました。

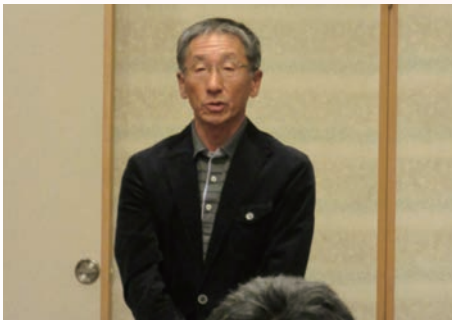


## 種子馬鈴薯耕作組合総会

3月22日(水)、ホテル湖南荘にて種子馬鈴薯耕作組合(組合長高橋広幸さん)の総会及び講習会が開催されました。

議事はスムーズに行われ、議案は全て承認されました。

講習会で普及センター美幌支所今野普及員を講師に招き、「圃場管理」と「効率的防除体系」について講義を頂きました。



## 女満別町採種小麦生産組合総会・講習会

3月23日(木)、午後5時よりホテル湖南荘にて女満別町採種小麦生産組合(部会長岡内篤志さん)の総会及び講習会が開催されました。

議長には本郷地区の岡田貴憲さんが選出され、議事はスムーズに進行、議案通り可決致しました。

講習会では、網走地区農業改良普及センター美幌支所の橋本主査を招き、小麦の栽培管理などについて講義して頂きました。



## 女満別町南瓜生産部会総会・講習会

3月23日(木)、ホテル湖南荘にて女満別町南瓜生産部会(部会長柴田健一さん)の総会及び講習会が開催されました。議事は議案通り可決され、講演会にはクレードル食品㈱徳永部長より講演を頂きました。



## 女満別町麦作振興協議会総会

2月21日(火)、女満別町麦作振興協議会の共励会及び講習会、定期総会が行われました。

平成28年産麦類品質向上共励会については「きたほなみ」の作付け7ha未満と7ha以上の部に分けて行われました。

講習会については、普及センター橋本主査に優良生産者事例を基に講義を頂きました。

その後行われた総会では議案通り可決し承認を頂き終了致しました。

共励会結果

7ha未満の部

第1位 丹治 哲さん(中央地区)

第2位 株式会社宮田ファーム(住吉地区)

第3位 曾根 正美さん(本郷地区)

7ha以上の部

第1位 川井 政昭さん(湖南地区)

第2位 東郷 学さん(大東地区)

第3位 舩本 裕樹さん(昭和地区)



## 女満別町稲作生産組合総会

3月21日(火)、女満別町稲作生産組合(組合長 富永雅浩さん)が講習会及び共励会、定期総会をホテル湖南荘にて行いました。

講習会は「28年産の反省と29年の課題」について普及センター佐竹普及員に講義を頂きました。

次に28年産もち米品質向上共励会が行われ、1位には高橋照明さんが表彰されました。(2位 谷大輔さん、3位 高橋敬義さん)

その後、総会において、役員改選が実施され組合長に宮本昭信さん(住吉地区)が選任されました。



## 平成29年 春の農作業安全確認運動実施

「一人一人の安全意識と周囲からの「声かけ」から始まる農作業事故防止」を重点テーマとして3月1日から5月31日まで実施しております。

事故防止するには、農業者一人一人の安全意識の向上が不可欠であり、さらに家族等からの「声かけ」で一層の事故防止意識を持ってもらう事が重要です。

これから、繁忙期を迎えますが急がず、慌てず農作業を。



# J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様定期的に伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

## J A北海道中央会

札幌市内で、高校卒業を控えた児童養護施設の生徒向けに、調理実習体験「おとなの食育」を開催しました。

J Aグループ北海道と「興正こども家庭支援センター」共催のこの取り組みは、高校卒業後、施設から巣立つ生徒に規則正しく健康的な食生活を送ってほしいという趣旨で実施しています。

札幌消費者協会「札幌ポトフの会」吉田講師からの「食」や「栄養」に関する座学、乳製品を使った調理実習体験に参加した生徒は「自分で作ると美味しい、今後もしっかり自炊したい」と笑顔で話してくれました。



## J A北海道信連

3月に札幌駅前通地下歩行空間でJ AバンクPRイベントを行いました。

ドローン貯キャンペーン当選者の発表や冬季アジア大会銅メダリストのカーリング日本代表「ロコ・ソラーレ」の本橋選手・吉田（知那美）選手によるトークショー、サイン色紙等の当たるクイズを行いました。また来場者のSNSにJ Aバンクポスターの写真を投稿してもらおう等J AバンクのPRに取り組みました。



## ホクレン

ホクレンは、新たな販路開拓に向け国内の食品に携わるバイヤーを対象にした「第11回J Aグループ国産農畜産物商談会」(3月7、8日開催、J A全農など主催)に出展しました。てんさい糖や乳製品、北海道米、小袋豆などを幅広く紹介したほか、新たに商品化した「ゆめぴりかの乾燥玄米入りグラノーラ」などを試食提供し、北海道の安全で安心な農畜産物や加工食品の魅力を伝えました。

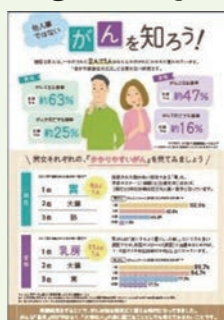


## J A共済連北海道

J A共済連は、国立がん研究センターと「がん」に関する情報提供について包括連携協定を締結しています。

世界各国で啓発行事が行われた「世界がんデー(2月4日)」に合わせ、チラシや告知資料を作成し、組合員や地域の皆さまに「がん」の正しい知識など情報提供すると共に、「がん共済」「医療共済」の推進活動にも活用します。

※この取り組みについてはホームページにも掲載しております。



## J A北海道厚生連

「旭川厚生病院で「土曜ドック」を！」  
旭川厚生病院では、男性の方を対象として、隔週土曜日に人間ドックを実施しています。午前中に全ての検査が終了し、検査結果は受診日から1週間ほどお届けします。前立腺がんや肺ドックなどのオプション検査も可能です。

随時予約を受け付けておりますので電話でお問い合わせください。

※完全予約制

(TEL) 0166-133-1717  
(内) 2146・2198



# 第62回JAめまんべつ女性部通常総会開催



議長 安達良江さん

3月2日(木)、女満別研修会館において、第62回JAめまんべつ女性部(川野久美部長、部員数180名)通常総会が178名参加のもと開催されました。

総会では、川野部長の挨拶後、山下町長、真鍋専務理事、普及センター北富所長、谷青年部長に祝辞を頂きました。

議長に豊里地区の安達 良江さんを選出し、平成28年度事業報告並びに収支決算報告、平成29年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について審議され、提案された全議案が可決承認されました。

総会終了後には、講師にホクレン農業機械課 馬淵彰司氏をお迎え「農作業安全研修会」を開催しました。

また、会場内では各支部の作品展示も行われました。



総会の様子



研修会の様子



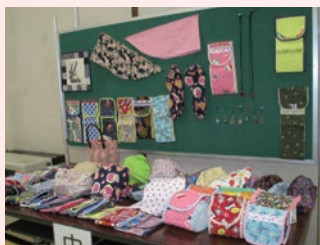
住吉地区



大成地区



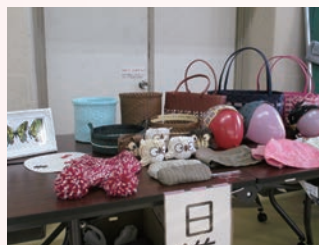
大東地区



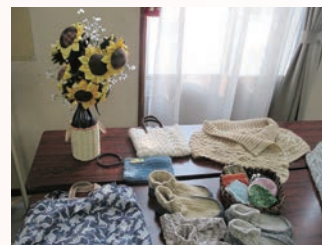
中央地区



朝日地区



日進地区



豊里地区



本郷地区



開陽地区



役員のみなさん



川野部長

# 第65回JAめまんべつ青年部通常総会



3月1日(水)、JA会議室において、第65回JAめまんべつ青年部(谷部長・部員97名)通常総会が67名出席のもと開催されました。

総会では、谷部長の挨拶後、来賓の川口副町長、渡邊組合長、農民協議会の岡内委員長、才ホーツク青年部協議会竹原会長、川野女性部長に祝辞を頂き、議長に大成支部の渡邊晃義さんを選出し、議案の審議に入りました。平成28年度事業報告・収支決算、平成29年度事業計画・収支予算案、平成29年度負担金徴収方法が提案され、すべて可決されました。

その後、平成29年度の役員改選があり、部長に丹治哲也さん(大東・中央)、副部長に岸友洋さん(開陽・日進・巴沢)、書記長に小森潤さん(昭和・湖南・朝日)が選任され、本年度の事業を新役員と取り組んで行くことになりました。



青年部新役員



青年部前役員

## 平成29年度 JAめまんべつ青年部役員名簿

(敬称略)

才ホーツク農協青年部協議会 執行委員	協 議 会	農 務 部 会 員	参 与	支 部 長	理 事	監 事	書 記 長	副 部 長	部 長														
勝田経誠	山田	田中	山内	谷本	谷地	城地	山谷	中村	渡村	丹治	川井	松田	晴山	山神	村田	赤石	小中	富永	石田	小森	岸友	丹治	
(大誠)	(大東)	(住吉)	(大東)	(日進)	(住吉)	(本郷)	(大東)	(大東)	(昭陽)	(昭陽)	(昭陽)	(昭陽)	(昭陽)	(昭陽)	(昭陽)	(昭陽)	(昭陽)	(昭陽)	(昭陽)	(昭陽)	(昭陽)	(昭陽)	(昭陽)
監事	豊里	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央



# 退任の挨拶

J Aめまんべつ青年部前部長 谷 直樹

3月1日の第65回めまんべつ青年部通常総会をもちまして青年部部長という大役を終えることができました。これも参加、ご協力して頂きました青年部員の皆様、そして農協、農協女性部、役場等の各関係機関の皆様方のご支援、ご協力のおかげであると感謝し厚くお礼申しあげます。昨年春先から天候に悩まされ4月の風害や8月の台風被害、11月の早い降雪など大変苦労した1年でありました。

そのような中、青年部活動は97名の盟友で活動を行って来ました。試験事業や研修事業、交流事業と様々な事業の中で知識の向上や盟友同士の交流を深めることができました。また、今年で8年目を迎えた食育事業では、小学生と幼児の44名の子供達と親に参加、協力して頂きまして多くの笑顔がみられました。昨年は雨も多くうまく育たなかった作物もありますが、それも含め作物を作る難しさや楽しさを感じてもらえたとおもいます。

前年度は悪天候により規模縮小での開催を余儀なくされた収穫感謝まつりでしたが、その悔しさや残念な思いがより一層部員同士の結束力を高め、様々な企画や案をもちより、女性部や商工会青年部をはじめとする多くの方々にご協力を頂きながら開催することができました。

また、研修会やスポーツ交流などで近隣の青年部の方たちと交流を深めることが出来ました。

こうして振り返ってみますと、大変多くの方に出会え、様々な話をできたことをうれしく思いますし、貴重な経験させていただき、自分自身大きな財産になりました。今後も青年部で得た知識や経験を活かし取り組んでいきたいとおもいます。

最後になりますが、今後も青年部活動に對しまして農協をはじめ、各関係機関の皆様方の変わらぬご指導、ご協力をお願い申しあげまして退任の挨拶とさせていただきます。

1年間ありがとうございました。



前三役の皆さん

谷本副部長

谷部長

山内書記長

# 就任の挨拶

J Aめまんべつ青年部部長 丹 治 哲 也

この度、3月1日に行われた第65回J Aめまんべつ青年部通常総会において平成29年度の新役員体制が決まり部長として1年間、青年部の代表を務めさせていただきますこととなりました。

日頃より青年部活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。J A、役場、女性部、普及センター、他数多くの各関係機関の皆様には改めて感謝申し上げます。

青年部では毎年、食育、試験研究、研修、交流の4つの部会活動を中心として、各支部での活動、各種勉強会、視察研修、また各関係者の皆様方にご協力を得ながら青年部主催での収穫感謝まつりの開催など数多くの活動を行ってまいります。

こうした青年部活動の中で農業者としての自己意識を高めるとともに、知識の向上、部員や各関係機関の方々とのつながりを大切に育みながら活動を行っていききたいと思えます。

近年の天候に關しましては毎年聞かえてくる「異常気象」という言葉、昨年台風の相次ぐ上陸などにより農地、農作物への甚大な被害を受け、農業情勢に目を向けますと、米国新大統領のTPP離脱・2国間交渉の表明、EUとのEPA交渉、農協改革では規制改革推進会議からの数々の提言が出されたりと先行き不透明感が増す中、青年部といたしましてもそういった情勢に對応できるような真剣に向き合い、日々努力していったと思えます。

青年部を通して仲間たちとともに色々な知識、経験を培いながら地域や女満別の農業を盛り上げていけるよう青年部員一丸となり頑張っ参りますので皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げます。1年間、どうぞよろしくお願ひ致します。



新三役の皆さん

岸副部長

丹治部長

小森書記長

## 年金友の会 温泉保養旅行開催

2月19日(日)から21日(火)の2泊3日の日程で、ニュー阿寒ホテルにおいて63名(男性28名、女性35名)が参加し、JAめまんべつ年金友の会(会長 米沢博さん)の恒例行事「温泉保養旅行」が開催されました。

なお、本年2月6日(月)に総会が行われ、28年度事業報告、29年度事業計画が承認されました。

### (1日目)

1日目夜の部では宴会が大広間にて行われ、米沢会長による挨拶と渡邊組合長の乾杯の音頭で始まり、カラオケ大会では皆さんの歌声を聞きながら、おいしい料理をいただき、大いに盛り上がりました。

### (2日目)

午前中は、スカットボール大会が行われ、大勢の会員が参加され男女各5位まで賞品が贈呈されました。(入賞者は下記の通りです)

午後からは、DVD鑑賞が行われ百田尚樹原作の「永遠の0」を上映し、皆さん当時の日本を思い神妙な様子で鑑賞されていました。

夜の宴会は、真鍋専務による挨拶から始まり、2日目のカラオケ大会でも皆さん歌声を披露され大いに盛り上がりました。

その後はビンゴ大会が行われ、ビンゴになられた方から順に豪華な景品を受け取られ、宴会の最後は坂東監事による締めの挨拶で2日目の楽しい夜を終了いたしました。

年金友の会では、今年の夏の行事としてパークゴルフ大会・ゲートボール大会を予定しておりますので、多数の参加を期待しております。

### スカットボール大会成績

(敬称略)

	男性の部		女性の部	
	名前	スコア	名前	スコア
1位	小松 幸彦	21	妻鳥 昌子	18
2位	橋本 清	18	高橋 與志	18
3位	上山 敏広	18	藤井 真佐子	17
4位	大津 福男	16	友田 フジ子	16
5位	岡内 日出雄	16	石川 セキ	15

※ルールにより同スコアの場合、年齢が上の方が順位が上となります。



米沢会長の挨拶



渡邊組合長の挨拶



宴会時の様子



カラオケ大会の様子



スカットボール大会の様子



スカットボール大会表彰の様子



ビンゴ大会の様子

# 青年部海外視察研修レポート

J Aのまんべつ青年部 松田 俊行、江口 龍一  
曽根 直弥、山田 直靖

欧州見学会の視察研修と併催として実施しました青年部海外視察研修について報告させていただきます。

私たちは青年部員4名を含む6名で11月19日から27日の7泊9日でオランダ、ドイツ、イタリアの3ヶ国、計6か所という行程で色々なことを学んできました。



視察先の選択については、これは見たい!というところや、ただ

ただ感心して終わらせないために極力、北海道の規模と近いところを農協観光に探してもらいました。20日に成田空港を出発し、11月21日の視察初日はデ・リールにある環境機器メーカー「プリバ社」を訪問しました。



プリバ社は本社460人程と、研究開発の為、各国の支社に計100人の社員を有し、この分野のマーケットリーダーです。日本では誠和とトミタテクノロジーが正規ディーラーとなっています。

環境制御のきっかけは創始者が施設内で暖房を使った時、燃焼時

に出るCO<sub>2</sub>も生育に関係していることに気が付いたことで、空調全体のコントロールをすることが始まりました。

オランダは海拔が低く、冬の日照が少ないなど地理的条件が悪いため、灌水は雨水を回収、紫外線殺菌、pH調整(5.5〜6.5)したものを利用します。廃液はシステムを循環し、再利用されます。そのためトマト1kg収穫するのに、露地栽培では100ℓの水が必要ですが、ガラス温室の環境制御では5ℓで済んでしまいます。また無駄に水を使わないため、農薬使用は、ほぼゼロ。トマトの収穫量は、露地5kgに対して環境制御では70〜90kgになるため、初期投資は高いが回収できるとのことでした。

その他にもCHPという高ジエネレータを使い、発電したものを電照などに使い、余った分は売電していました。夏場の冷房の為に使った水が温水になったものをタンクに溜め、それを冬場の暖房に使うなど、限りある資源を最大限活用する姿勢は大変勉強になりました。

その考え方から、今ではビル全

体の自動空調やビル屋上でトマト栽培と魚の養殖の両立、トマトの葉かきロボットなど新しい事にもチャレンジしていました。その中でも面白いと感じたのは生長点モニターという、作物を3つの高さで赤外線を使い温度を測るといふもの。この3つの温度差でどれだけ蒸散しているかが分かり、栄養生長か生殖生長か判断できるとの事です。

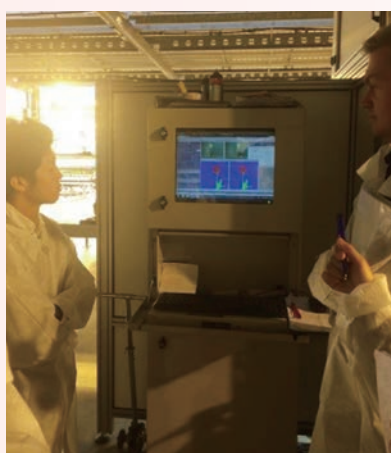
また、環境制御では何に合わせることが重要かという質問に対し、光、温度、CO<sub>2</sub>、風、水、などバランスを保つために重要なものは、その土地によって変わり、水がないところなのか、風が強いところなのか、日本のように地震が多いのか、気候風土に合わせて考えることが環境制御で大切であると答えてもらいました。



この日の午後はプリバ社のシステムを使っていてシオンという胡蝶蘭を生産している会社を視察しました。生産施設が全て環境制御されていることはもちろん、出荷までのラインもオートメーション化され、一鉢一鉢コンピュータによって品質管理されていました。およそ5haの施設の総工費は40億円という莫大なものですが、創業者一代で回収できているそうです。とっさに国の政策補助があったのかまで聞くことが出来なかったのが、悔やまれます。年間売り上げは3千2百万ユーロ、社員は130名で苗の生産ラインと出荷ラインには沢山の人がいましたが、生育棟に出入り出来る人間は10名程と衛生上の問題等で制限しているとの事でした。



農場というよりは工場のイメージが強く、胡蝶蘭は出荷までに3年もかかるそうですが、正品率は98%という驚異的なものでした。システムのおかげかと思いましたが、今の品質を維持できるまでには社員同士の研修や沢山の試行錯誤があったとのことでした。ちなみにダニや害虫は出るそうですが、ジャガイモなどで誘因し、それを捨てて耕種防除しているそうです。



システムを上手に使いこなすことで、おごることなくより良いものを作るスタイルは取り入れていきたいと思いを強くしました。

オランダ視察でお世話になった通訳さんは農水省の方々のお相手もされる農業分野に強い方で、オランダの温室と呼ばれるものは全

てガラスである・産学官の連携が良い・豚肉の自給率は200%で畜産も発達している・トマトの味が悪く、今は消費者に好まれるものを作っている・農家は減少している・日本同様、野菜がどうでているか分からない子もいるなどオランダの情勢を色々教えてくださいました。

翌日はオランダからドイツへ移動。車窓から、オランダの畑も広いなと思っただけでしたが、海抜が低いために一定区画で明渠が掘っており、You Tubeで見られるように大型トラクターがハマるのにも納得しました。

視察2日目は農場、牧場、直売所、レストラン、民宿の複合経営をしているドイツのバウエルンゲート・シーフェルブッシュ農場を視察しました。ケルンから近い都市近郊型農業がここの特徴で、子供たちが遊べるようにトランポリンやブロッコリーの麦稈を積んだ場所なども作られていました。農産物がどのように作られているのか興味を持っていて消費者は増えているそう、農場内のあちこちに説明の



看板がありました。農業としては特別なことはなく、トラクターなどはこちらで使っているものより古く(そのかわりほとんどの農家がフェント)日本の20ha規模の作業機とさほど変わりません。都市近郊を生かし、生産方法に納得した消費者が直売所で買ったり、レストランで食事したり、長期休暇で民宿を利用してもらったりして経営しているのだと感じました。この農場を知ってもらうためにホームページをはじめ、Facebook、雑誌、テレビ、看板などで大々的に広告をしているので、当日休みだった農場にも子供を連れて遊びに来る家族などがいました。ただ現状に満足せず、経営の幅を広げるために農業展などで他農家のやり方を勉強し、常に工夫をしているとのことでした。

3日目は2日目と同じような直売所を持ったハウス・ボルハイムを視察しました。違いは全て有機栽培であり、4件共同経営、都市部からは離れているということ。直売所は有機栽培を知ってもらうことがきっかけではじめ、他社の色々な有機栽培の物も仕入れ、品数は多かったです。



ドイツでは有機栽培のことを「BIO」と書いて「ビオ」と発音していました。

経営規模は200haほどで近隣農家より少ないとのこと。ちなみにドイツの農地価格は上がっており、売買だと80万円/10aと高額

でした。

直売所以外にもパン、チーズ工房があり、今までに4人の日本人が修行にきたそうです。若い実習生らしき人達が目につき、質問するとドイツでは何らかの職に就くために3年間実習しなければいけないそうで、それを受け入れてくれる農場であると答えてもらいました。

牧場でも有機のえさで飼育し、乳量は年間6千5百ℓ/頭ほどでした。後に乳価の話はしますが、これだけではかなり経営は厳しいのではないかと感じました。

共同経営についても伺い、4人の代表はそれぞれ野菜、チーズ、農牧場、マーケティングを担当し、いさかいや喧嘩もあるがちゃんとしたルールで戻らなければいけなく、30年有機に取り組み、地元では有機Ⅱこの農場までになったそうです。都市近郊ではないため、有機農業を知ってもらうために自社ブランドマークを作り、自社新聞を2千5百部発行したり、有機農業についての映画鑑賞を敷地内施設で行ったりと様々な取り組みを行っていました。そしてこんな質

間もしてみました。「経営を行ううえで一番大切なことは何ですか？」それは難題だねと笑いながらも「消費者にオープンであることだね」と答えてもらいました。こちらの取り組みをオープンにすることはもちろん、消費者側の意見も聞き、出来ることは変え、出来ないことはなぜ出来ないかを伝えるという関係性をオープンに出来る雰囲気作りも重要だと聞き、少なからず自分で販売をしている私にとってはハツとした瞬間でもありました。世の中にはこだわりを持った野菜なんていくらでもある。消費者に選ばれる価値を自分は持ちえているのか今でも考えているところです。



午後はワグナーさんという一般の肉牛農家を訪問。ついてすぐ目についたのはT6. 150のオートコマンド。ステップのところに足が不自由な人が降りやすいような装置がついているのに疑問を持ちましたが、現経営者の娘さん(21歳)の父が事故で不自由になったのを聞いて納得しました。



父の事故をきっかけに乳牛から肉牛に変え、現在は33頭飼育。100haの面積の内、33ha農地がありリンゴやニワトリなども買っていました。かなり小規模ながら直売もしており、田舎ながらお客さんの出入りがありました。またまなのか、ここも有機栽培を行っており、始めるにあたっては周りからは相当反対されたそうです。事実、近所と同じく有機を始め、

倒産した農家もいると言っています。した。

この農場は母が病院に勤めていて、生活費はそれで賄い、農場の売り上げは農場運営に充てていると教えてもらいました。なぜそのような話になったかという、農場にはまだ乳牛がいて、ドイツの乳価は低く普通牛乳で60セント／ℓ、有機で1.2ユーロ／ℓで、5年前なら有機でも50セント程度だったそうで、搾りだけでやっていくにはかなり大変な状況でした。ちなみに肉については13ユーロ／kg程度とのことでした。

一軒で100haの面積があるならトラクターや作業機も色々あるかと思いましたが、トラクターは150馬力と90馬力のローダー付きぐらいで作業機も必要最低限という感じでした。大農家なら色々あるのかもしれませんが、今回あちこち見ていて日本が色々あります。ドイツではフェントを良く見ますねという話をすると、主流はフェント、ジョンディアで最近ニューホが入りだしているとのことでした。

最後は自宅で手作りパイと自家

製の有機リングゴを使ったジュースでもてなしていただき、お腹パンパンになりました。

ドイツまでの視察が終わりイタリアへ移動する予定でしたが、航空会社のストライキにあたり（年一回ぐらいらしい）、代表の大隅さんが深夜に旅行会社と話を付けて、ウィーン経由でイタリアへなんとか移動することになりました。何かしらトラブルはあると思っていましたが、旅行保険に入っておいて本当に良かったです。

4日目は中休みで一日イタリア観光の予定でしたが、ドイツのクリスマス市などを数時間観光し、ミラノへ移動しました。

5日目はミラノに近いコルバリ農場を視察。ここも都市近郊で有機栽培の直売型。視察先が同じようなどころになったのはバランスが悪かったかなと反省。

1987年からロンバルディア州で最初に有機栽培のみで始めた農場は現在5haで品質を維持するために規模拡大は行わない方針で、スーパーなどに出すことはなく直接バイヤーが買いに来ること。イタリアの有機野菜は一般の倍程

度の価格だが、直売の為それよりは安く、特に広告はしていないのにこんなに人が来るのか？と思うほど頻繁にお客さんが出入りしている状況でした。

農場内はビニールの施設が目立ち、有機の為、マルチや藁を使い雑草対策していましたが、露地はシーズンオフのため、割と荒れ放題のイメージ。雑草問題は万国共通でした。また、農場内を歩いていると季節柄なのか落ち葉がすごく、木を切らないのか？と聞いたところ、天敵の生態系維持のためにならざるを得ない、国立大学の調査研究でも微生物などのバランスが良い事が証明されたと説明を受けました。水路もあり、春になると水質をコントロールした水が流れるとのことでした。

この直売所もドイツ同様、多



品目扱うことが重要とし、他社の商品も並んでいました。販売風景を見ていると、顧客を大切にしていると言っている通り、どのお客さんとも仲よさそうに話している雰囲気がありました。

視察後は短い時間でしたがドオオモ内や付近を観光したり、買い物したり各々楽しむことが出来ました。

視察を終え私達が感じたことは、オランダでは限りある資源を最大限活用する技術の高さに驚かされ、ドイツ、イタリアでは作りだした農産物の価値を消費者にどのよう提供するかを学ぶことが出来ました。北海道や女満別しか持っていない価値もあるだろうし、自分にしかないこだわりを上手く利用できないか改めて考えるきっかけにもなりました。

今回の視察にあたり助成していただいた、農協、大空町、そして世界情勢が不安定な中、送り出してくれた家族には大変感謝しています。私たちが学んできたことを地域で生かし、貢献することで返していけるようこれからも頑張りたいと思います。



# 理事会レポート

## 第2回3/17開催

### 組合員状況 3月末日現在

組合員数	前月対比
正組合員 441名 (内12法人含む)	(±0)
戸数 292戸	(±0)
准組合員	
団体 159団体	(±0)
個人 258名	(±0)

#### ◇議案

- ① J A全国監査機構による平成28年度財務諸表等の監査報告について  
J A全国監査機構による平成28年度監査報告について承認されました。
- ② 監事会による平成28年度財務諸表等の監査報告について  
豊島代表監事より平成28年度監査報告がされました。
- ③ 平成28年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表、附属明細書及び部門別損益計算書について  
原案通り承認されました。
- ④ 定款の一部変更について  
原案通り承認されました。
- ⑤ 第69回通常総会の開催及び提出議案、並びに書面による議決権行使にあたっての留意事項の内容について  
原案通り承認されました。
- ⑥ 農業基盤整備資金の借入について  
原案通り承認されました。
- ⑦ 理事に対する資金の貸付について  
原案通り承認されました。
- ⑧ 特定組合員に対する資金の貸付について  
原案通り承認されました。
- ⑨ 育児および介護休業規程の一部改正について  
原案通り承認されました。
- ⑩ 組合員の持分譲渡について  
正組合員1名の出資金持分譲渡が承認されました。

#### ＝協議報告事項＝

1. 第5回オホーツク管内農業団体ジャガイモシロシストセンチウ対策本部会議について
2. J A北海道中央会通常総会並びに各連合会臨時総会について
3. 地区懇談会の顛末について
4. 特定事業者作成書面（リスク評価書）の一部改正について
5. 住宅ローンの金利改定について  
キャンペーン金利 当初3年0.70%・当初5年1.20%・当初10年1.55%（H29年4月1日改定）
6. 平成28年産原料てん菜の精算について
7. 広域穀類乾燥調製貯蔵施設の事業経過報告について
8. 平成29年度役員海外視察研修の実施及び職員の参加について

### 3月17日開催北見黒毛和牛市場成績

(価格 円)

		市場全体		女満別	
		本年実績	前年同期	本年実績	前年同期
去勢牛	平均価格	866,155	857,023	875,768	891,166
	出場頭数	232	203	30	26
	成立頭数	221	200	29	26
雌牛	平均価格	757,284	708,627	778,320	750,384
	出場頭数	130	150	24	20
	成立頭数	122	147	24	20

※価格は1頭平均・税込価格



# オホーツク豆フェスタ 2017

3月23日(木)に北見市のホテル黒部にて、オホーツク豆フェスタ2017が開催されました。公益財団法人オホーツク地域振興機構が主催となり、オホーツク産豆類の地産地消や利活用促進を進めるため、豆類を使用したランチメニューの試食会・講演会を通してオホーツク産豆類の良さ、食に対する豆類の重要さが伝えられました。

オホーツク産豆類を使用したランチには、「大正金時豆と白花豆のトマトのマリネ」等、多数のメニューが紹介されました。豆の風味や舌ざわりが良く、どれもおいしくいただきました。

また、オホーツク産豆類による地域活性化の取組と新たな需要への対応をテーマにパネルディスカッションによる意見交換が行われました。生産者代表として、当組合から北海道指導農業士である有限会社合田農場合田秀樹さんがパネラーとして参加されました。合田さんは、豆類生産についての思いや今後の豆類生産に重要な安定生産・安定供給・品質向上についてお話されていました。更に、大空町女満別に建設され平成30年産より稼働予定となっているオホーツクビーンズファクトリーの取組を紹介し、オホーツク地域が一体となり豆類の安定生産、安定供給、更なる需要拡大となるようオホーツク産豆類の地域ブランド育成を目的とする等、様々な意見交換が行われました。



## 新型XV登場



■XV 1.6i-LEyeSight  
AWD CVT  
車両本体価格  
**2,381,400円(税込)~**

■XV 2.0i-LEyeSight  
AWD CVT  
車両本体価格  
**2,624,400円(税込)~**

※PHOTO:2.0i-S EyeSight クールグレーカーキ  
ルーフレール+シャークフィンアンテナは  
メーカー装着オプション  
写真はSUBARU XV プロトタイプによる  
イメージで、実際の仕様とは異なる  
場合があります。

※photo:KCスペシャル  
5MT 4WD

# 車を探すなら JAで!



売れてます!

**CARRY**  
JA特別パッケージ

希望小売価格  
KKCU-L2 4WD/5MT

お支払い総額 **99.9万円** (税込)  
コミコミ価格!!

取得税/重量税/自賠責/預かり法定費用/登録手続代行料/リサイクル料金/リサイクル資金管理料 すべて含む

## キラキラ青年部 ～青年部紹介～



かわ い ゆう た  
**川 井 雄 太**

32歳・AB型  
湖南地区

- 就農年数  
10年
- 趣味・特技  
ドライブ
- 好きな女性のタイプ  
心が広い人
- 最近ハマっていること  
子供と遊ぶこと
- 農家をやってよかったこと・感動したことなど  
良くも悪くもやったことが反映されるどころ
- 今後の目標  
頑張ります！！

## ニューフェイスの紹介 2月よりホクレン網走原料所(女満別担当)に赴任しました。

- ①名前 ②生年月日 ③出身地 ④所属部署 ⑤趣味 ⑥特技 ⑦長所 ⑧短所  
⑨安らぎの場所 ⑩尊敬する人 ⑪座右の銘 ⑫理想のタイプ ⑬抱負



さ とう こう じ  
① **佐 藤 宏 二**

- ② 昭和50年7月7日
- ③ 厚沢部町(函館方面)
- ④ ホクレン網走原料所女満別担当
- ⑤ 体を動かす事(最近はゴルフ)
- ⑥ ゴルフ? 学生時代の名残でバレーボール?

- ⑦ 気が長い
- ⑧ 不器用。回りくどい。
- ⑨ 自分の家と図書館
- ⑩ 両親と妻
- ⑪ 石の上にも三年
- ⑫ 一緒にいて落ち着ける人
- ⑬ 女満別の生産者の為に少しでも役に立てよう精一杯努力してまいりますので、宜しくお願い致します。

## 退職のご案内



管理部 管理課 経理係  
**浅 野 真 季 子**

勤 続：11年6カ月  
退職日：平成29年3月31日付



監査室 監査室長  
**今 城 俊 弘**

勤 続：41年(嘱託勤続5年6カ月)  
退職日：平成29年3月31日付

～お世話になりました～